



## もっともっと、 日本を楽しみたい!

### 河本 宏子

全日本空輸  
常務取締役執行役員

ANAに客室乗務員として入社してから〇年間!? 日本の空を飛び回ってきました。初めて乗務した時に空から眺めた景色が「地図と同じ形だ!」と思わず感嘆の声を上げたことを今も忘れることができません。フライトが終わった後のステイ先で名所旧跡を巡ったり、地元の郷土料理やお酒を仲間と共に楽しむことができるのは、まさにこの仕事の醍醐味でもありました。

今、ANAでは、全国都道府県の「食・お酒・スイーツ・カルチャー」を機内やラウンジで順次紹介し、日本が誇る日本の価値を発信する「Tastes of JAPAN by ANA」というプロジェクトを進めています。この企画で各地の名物が登場するたびに、客室乗務員時代の思い出がよみがえってきます。今でも「就航地でのお勧めは?」と尋ねられれば、ポケットからいくつかのアイテムを取り出すことができるのがちょっとした自慢です。というのも、世界に誇れるものはそのころと変わらずに残っていて、その価値は今も輝き続けているからです。

先日、「ワイングラスでおいしい日本酒アワード」という大会の審査員をさせていただきました。国酒である日本酒をワイングラスでたしなむことで、今までと違う楽しみ方、新たな価値を生み出そうというものです。もちろん伝統的なお猪口での利き酒も楽しいのですが、大きなワイングラスを口元に近づけたときに広がる香りや、グラスをつたい、ゆっくりと喉もとに届く触感は、今までとは違った風味を感じさせるものでした。

これらの取り組みは、「地域を活性化したい」「日本の良さを知ってもらいたい」という目的の下に行われていますが、私自身、日本のことをどこまで知っているのだろうか、あらためて気付かされる機会ともなりました。

ANAには、女性としての感性や客室乗務員としての経験を活かし、地域活性化に携わっている仲間がいます。その土地での暮らしを通して「知ったこと」「感じたこと」を楽しみながら、それぞれの地方にあるコト・モノを発信する役割を果たしてくれています。

私自身も、変わらない日本の良さに触れる旅や、新たな発見を求める旅に出掛け、もっともっと日本を楽しみたいと思っています。皆さんもいかがでしょうか?